

---

令和7年度  
秋田県中学校部活動地域移行推進事業成果報告会

～ 能代市の取組 ～

---

令和8年3月5日（木）  
能代市教育部 生涯学習・スポーツ振興課

## 【内 容】

1. これまで（令和7年度まで）の取組
2. 今年度開始時の状況
3. 課題等
4. 令和7年度の取組
5. 新たな推進計画（案）
6. 令和8年度の取組
7. 今後の検討

# 1. これまで（令和7年度まで）の取組

## ①NOSHIROソフトボールクラブの設立（令和5年9月設立）

- すべての中学校で単一チームを組めない中、関係者によるワークショップを経て、市教育委員会が地域クラブを設立し運営。
- 休日はクラブ活動で、平日はクラブ指導者が行けない日は部活動。

⇒秋田型部活動支援事業（クラブ指導者謝金）

## ②「能代市部活動地域移行推進計画」（令和5年12月策定）

- 休日と平日の隔たりのない体制整備。
- 令和8年度を目途に地域移行を行う。
- 指導者には報酬を支給。

## ③「能代市部活動地域移行推進協議会」（令和6年1月設置）

- スポーツ&文化団体、学校、地域クラブ、保護者の参画。

## 2. 今年度開始時の状況

### ①NOSHIROソフトボールクラブ

- クラブ員 16名（市内3中学校、三種町琴丘中）
- 県大会優勝などの活躍
- 運営を市ソフトボール協会へ移管する方向性

### ②「能代市部活動地域移行推進計画」

- 令和8年度を目途に地域移行を行う。  
⇒8年度の完全移行は不可能。部活動との併用や部活動にない種目のクラブ化はあるが、移行により部活動を無くした種目は無し。
- 指導者には報酬を支給。  
⇒財源もなく未実施。

### ③「能代市部活動地域移行推進協議会」

- 設置後、1回限りの開催。

# 3. 課題等

## ○推進計画どおりに進んでいない。

### ①機運醸成の低さ

- 学校関係者は、働き方改革が大前提。
- 競技関係者等は、学校側での問題を、なぜ地域が担うのか。  
⇒合意形成が図られていない  
⇒関係者（行政、スポーツ・文化団体、学校、生徒、保護者）が自分事に思っていない  
⇒地域展開の必要性が浸透していない

### ②具体的なイメージがない

- 合意形成を高めるためには？
- 地域展開の推進を図るためには？

# 4. 令和7年度の取組

## ①機運醸成

⇒コーディネーターの配置（秋田型部活動支援事業）

スポーツ協会や既存地域クラブ、校長会・各学校との情報共有。

⇒地域展開通信等の発信

学校の連絡アプリ tetoru（テトル）による保護者・生徒等への情報発信

## ②地域展開の推進

⇒スポーツ協会や受皿に成りえる団体等との合意形成を図る。

⇒支援策の検討。地域クラブへの費用面や活動場所の調整。

## ③推進計画の見直し検討

⇒推進協議会による協議

7年度で5回開催予定。最終3月開催では、新たな推進計画の承認。

# 5. 新たな推進計画（案）

## ①方向性

- **令和11年度を第一次部活動廃止時期**に設定

現在の中学校部活動種目の機会の確保及び中学校体育連盟主催大会等へ参加する種目（全16種目）の環境整備。

## ②計画期間

- 第一次推進期間 令和8～10年度

11年度を目標に、種目毎に地域展開を図り、環境が整ったところは前倒しで実施する。

- 第二次推進期間 令和11～13年度

現在の部活動にない活動の環境整備や生涯学習の一環種目の整備。10年度末までに地域展開を図れなかった種目について、更なる検討を行い種目毎の計画を作成する。また、13年度末までに平日を含めた地域展開が整わない種目でも、休日の完全移行を行う。

# 6. 令和8年度の取組（1）

## ①能代市認定地域クラブ活動制度の運用

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」（令和7年12月文部科学省）の「地域クラブ活動に関する認定制度」に基づき、能代市として地域クラブ活動の認定を行う。

⇒令和8年4月1日施行予定

## ②支援の実施

- 活動場所の斡旋（以前から公共施設は中学生以下無料）
- 指導者研修等の受講機会や各種情報提供
- 教育委員会及び中学校等との連携支援（コーディネーターの配置）（※）
- 部活動指導員の配置（※）

（※）令和8年度地方スポーツ振興費補助金（仮申請中）

# 6. 令和8年度の取組（2）

## ②支援の実施

### 【費用面】

- 大会出場費補助金（平成8年度から実施。部活動での参加は別途補助）
- 能代市中学校部活動地域展開活動費補助金（新規：予算審議中）
  - ⇒令和8年4月1日施行予定
  - ⇒対象：中体連の大会に参加または参加を目指す活動をする地域クラブ
  - ⇒想定：9種目11クラブ
- 休日の地域クラブ活動費等の支援（※）
- 経済的困窮世帯の生徒への参加費等の支援（※）
  - （※）令和8年度地方スポーツ振興費補助金（仮申請中）

# 7. 今後の検討

## ①地域展開の推進

スポーツ活動では、数種目を除いて地域クラブ化が実現、文化芸術活動は進んでいない。

- 部活動廃止に向けた種目毎の研究  
部活動のスポーツ種目11種目中、9種目に地域クラブ（うち2種目は営利クラブ）があるものの、活動生徒数が多い種目は既存クラブのみでの受入ができない。
- 文化芸術活動の地域展開（吹奏楽、美術）

## ②支援策の検討

- 費用支援の拡大（財源確保）
- 活動場所等の仕組みづくり（予約、体育館のカギなど）
- 移動支援

# 8. 参考資料（1）

○地域展開の必要性が浸透していない  
⇒なぜ地域展開が必要なのか？

能代市中学校生徒数の推移

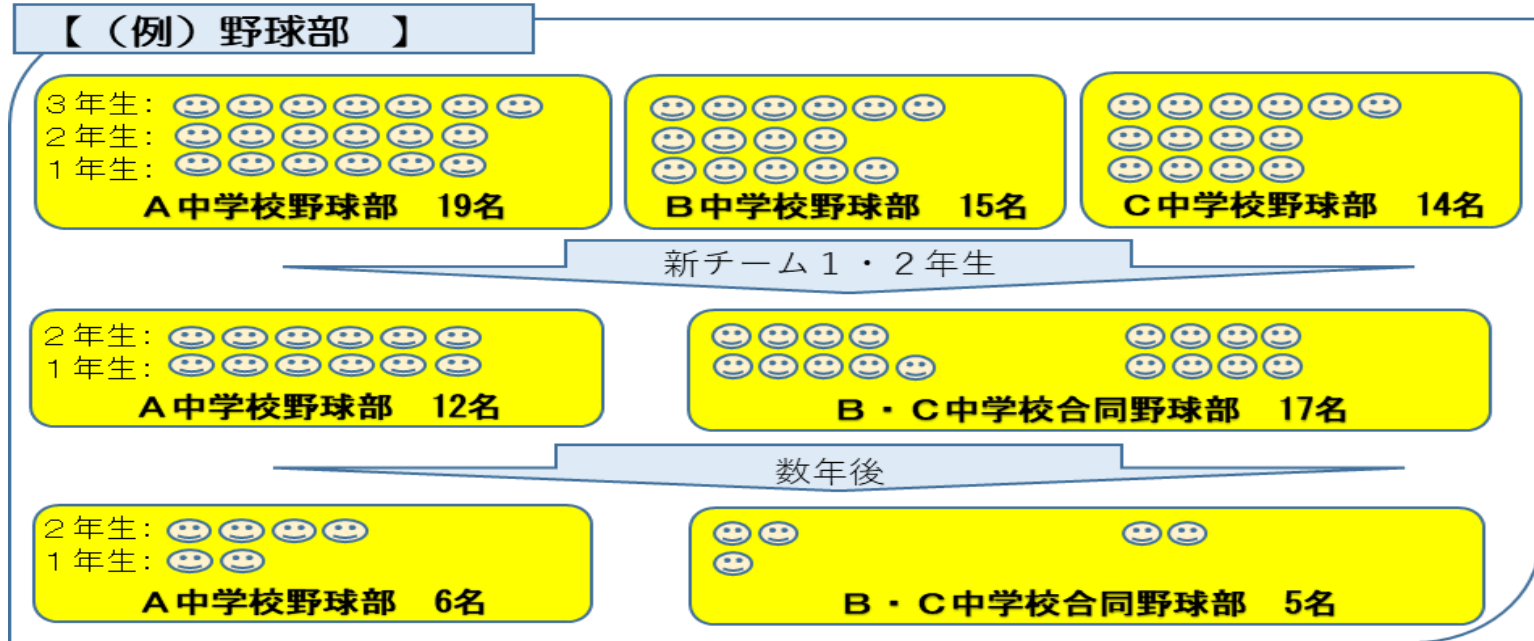
(単位：人)

学校名	H27	R2	R7	R12	R17	R19
一中	226	202	125	736	576	460
二中	296	298	249			
東中	139	100	87			
東雲中	242	237	166			
南中	203	167	150			
常盤中	38					
二ツ井中	193	133	118			
計	1,337	1,137	895	736	576	460

約10数年後には、生徒数が半減と予測され、学校部活動の継続が困難となります。

# 8. 参考資料（2）

なぜ地域展開が必要なのか？



こうなると・・・

「ABC中学校の合同野球部？」「指導者は誰が？変わるの？」「毎日の練習や場所は？」「各学校に顧問は必要？」「学校では廃部を検討」「市内だけではチームを組めない」など、これまでどおりの各学校のみで運営していた部活動の継続は不可能な状態となります。

こうなる前に・・・

学校を含めた地域全体で子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の新しい環境を作る必要があります。